

令和 4 年 10 月 27 日
仙台市再犯防止推進ネットワーク会議

令和 3 年度における再犯防止推進に向けた取り組みの振り返り（報告）

せんだい支えあいのまち推進プランにおける再犯防止推進分野の令和 3 年度の取り組みに対する、仙台市再犯防止推進ネットワーク会議の意見は次の通りである。

なお、意見のとりまとめにあたっては、仙台市作成の令和 3 年度総合評価シートを参考とした。

1 仙台市再犯防止推進ネットワーク会議の設置

再犯防止分野の重点的な取り組みとして掲げている「関係機関団体による支援のネットワークづくり」として、令和 3 年 11 月に仙台市再犯防止推進ネットワーク会議（以下、「当会議」という。）を設置した。特徴は、仙台市、仙台保護観察所及び仙台矯正管区の共催による設置・運営としたことであり、これにより会議の開催や当会議における事業の実施に向け、日常的に連携や情報共有を図る関係性が築かれ、仙台市における再犯防止推進の大きな一歩となったと評価できる。

また、当初、年一回程度の開催予定であったが、次年度のスタートを素早く切れるよう、年度内に第 2 回会議を開き、令和 4 年度の取り組みを決めた。当会議の実効性を高めるため、令和 4 年度以降は会議を年 3 回開催としたことの意義も大きい。

今後、当会議での連携関係を維持・発展させながら、支援の現場レベルでの円滑な連携・協力関係に広げていくことが必要である。

2 その他の取り組み

当会議における具体の事業実施は令和 4 年度以降となるものの、意見交換等を契機として仙台市の既存の事業の中での連携の取り組みもあった。

一つは、協力雇用主制度等について、仙台市等の電子媒体（メールマガジン）を活用し、市内事業所等へ周知し、介護事業所 3 社から受刑者用求人者の申し込みがあった。

また、仙台市の地域福祉活動者らが集う仙台市社会福祉大会において実施されている市長感謝状贈呈について、保護司及び更生保護女性会、BBS 会の更生保護ボランティアが対象となるよう市の要領を改正し、令和 4 年度大会から適用されることとなった。

仙台市の様々な事業を通して、更生支援への理解浸透が広く図られていくことに期待したい。

このほか、依存症対応として、令和 3 年 7 月に「はあとぼーと仙台」のデイケアにアディクション回復支援コースが開設され、回復支援プログラムの取り組みが始まったことも特筆したい。